

慶應義塾図書館貴重書展示会

内 容：『近代科学の黎明—コペルニクス，ニュートン，そしてキルヒャー—』

コペルニクス，ガリレオ，ケプラー，ニュートン，キルヒャーといえば誰もが知る科学革命の担い手たちです。彼らの研究によって生み出された近代物理学はさらに発展し，今では私たちの生活を支配するようになっていきます。慶應義塾図書館が所蔵する当時の書物を展示し，これらに関連する講演会を行いました。期間中の来場者は約 1200 名。

主 催：慶應義塾図書館

協 賛：丸善株式会社

会 期：2005 年 1 月 26 日（水）～1 月 31 日（月）

会 場：丸善・丸の内本店 4 階ギャラリー

講演会：1 月 26 日（水）「今も生き続ける古典的な世界観」

西脇 与作 慶應義塾大学教授

1 月 27 日（木）「アタナシウス・キルヒャー—最後の万能学者」

和泉 雅人 慶應義塾大学教授

1 月 28 日（金）「宇宙の宏大さに気づいた人々の驚きと不安」

渡辺 博 中央大学教授

1 月 29 日（土）「科学と宗教の密約—近代自然科学誕生の文脈—」

一ノ瀬正樹 東京大学助教授

1 月 30 日（日）「科学の二つの顔—『アマチュア科学』の時代と科学書の楽しみ方」

横山 輝雄 南山大学教授